

田端コース

距離3.4km

芥川龍之介や萩原朔太郎といった田端で活躍した文士・芸術家の足跡を辿る記念館のほか、金剛力士立像に病気回復を祈願するお寺や賊除地蔵の伝説が残るお寺など、田端駅周辺をぐるっと回ります。



スタート JR 田端駅



1 東灌森稲荷神社

西日暮里より2回の引越の末、現在の地に落ち着きました。石鳥居は吉原遊郭の尾張屋彦太郎が奉納したもので、江戸下町の信仰を受けていたことがわかります。本神社は江戸城築城時の方除けの一つで、灌の字は太田道灌の1字を取ったものです。

住 東田端1-11-1



2 田端ふれあい橋

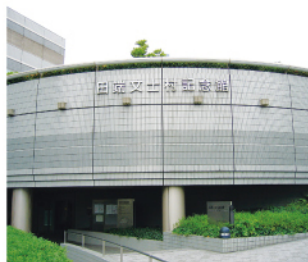
軍艦建造技術をいかした全溶接橋・旧田端大橋の老朽化に伴い、その北側に新田端大橋が開通しました。それによって平成4年、旧田端大橋は駅前広場と憩いの場を兼ね備えた、歩行者専用の田端ふれあい橋に生まれ変わりました。

住 田端1～東田端1
電 03-3908-9265
(北区道路公園課道路係)

3 田端文士村記念館

芥川龍之介、室生犀星、小杉放庵、板谷波山など、田端を拠点にした文士・芸術家たちの作品資料が展示されています。月に一度(1,2,7,8月は除く)「田端ひととき散歩」が開催されるほか、定期講演会(年3回程度)などが行われています。

住 田端6-1-2
電 03-5685-5171
時 10:00～17:00(入館は16:30まで)
休 月曜(祝日の場合は火曜と水曜)、祝日の翌日(土曜の場合は翌週火曜)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日
料 無料



4 富士見橋エコー広場館

北区の地域リサイクルの活動拠点で、リサイクルに関する情報提供や講座を行っています。古布を利用した織物の体験や、毎週日曜のバザーやフリーマーケットなども楽しめます。

住 田端5-16-1
電 03-3824-3196
時 10:00～16:00
休 水曜、祝日、年末年始



5 上田端八幡神社

上田端の村の鎮守で、源頼朝がこの地の豪族豊島氏とともに奥州征伐の帰路に駐留した証として、鎌倉の鶴岡八幡宮を勧請し、郷村の鎮守としたといわれています。

住 田端4-18-1
電 03-3828-2798



6 大龍寺

不動院淨仙寺が荒廃していたのを、湯島靈雲寺光海の高足光顕が中興して、大龍寺と改称したと伝えられています。正岡子規、板谷波山などの墓で有名です。

住 田端4-18-4
時 9:30～16:00
休 月曜、1月4日～8日



7 東覚寺

不動堂前にある一対の仁王像は、「赤紙仁王」と呼ばれています。「赤紙仁王」は、寛永18年(1641)に僧・宗海が疫病を鎮めるために建てたとされる石の金剛力士立像で、病のある場所と同じ部位に赤紙を貼って祈願すると病気が治るといわれ、病気の癒えた人はわらじを奉納するからわらじがあります。

(「石造金剛力士立像(赤紙仁王)」)北区指定有形民俗文化財)

住 田端2-7-3
電 03-3821-1031



8 興楽寺

興楽寺は真言宗豊山派のお寺で、江戸時代には20石の朱印高を拝領しました。江戸六阿弥陀参詣の第4番御府内八十八ヶ所第56番の札所です。阿弥陀如来は女人成仏の本尊として有名です。境内には、南北朝時代の石の仏塔(四面四仏石塔)や、江戸時代の巡拝塔、廻国供養塔などがあります。

〈賊除地蔵の伝説〉

昔、ある夜のこと。盗賊が興楽寺に押し入ろうとした時、どこからともなく大勢の僧侶が出てきて盗賊の侵入を防ぎ、遂にこれを追い返しました。翌朝、寺僧が本尊の地蔵菩薩の足に泥がついているのを発見し、地蔵菩薩が僧侶となって盗賊を追い出したのだと信じられ、以降本尊の地蔵菩薩は、賊除地蔵と称されるようになりました。

住 田端1-25-1
電 03-3821-0976



不動産